

都市遺産を考える

一次代に引き継ぐ物語

池田 誠一

【12】語りたくなる物語…私の名古屋・都市遺産

1 20個の候補から

これまで10回にわたって、名古屋の都市遺産について考えてきました。その結果、20項目ほどの都市遺産候補を引っ張り出すことができました(図1)。

しかしこれらは、古代、中世、…と、時代ごとに区切って選んだため、項目には多少のひずみがあるかもしれません。また中には、一般の人には難しい話のものや、ローカルな話題といえるものもあります。

時代	20項目	その他	連載回
古代	①熱田の宮 ②東山古窯群	・古木曾川 ・狗奴国論	2回
中世	③萱津東宿 ④織田信長	・武将の輩出	3回
近世	⑤名古屋城 ⑥碁盤割の街	・堀川 ・清須越	4回
	⑦蕉風発祥地 ⑧宗春の治世	○北斎漫画 ・広小路 ・有松絞 ・出版と貸本	5回
近代	⑨名古屋駅 ⑩名古屋港	・名古屋城の保存	6回
	⑪上絵付産業 ⑫覚王殿誘致	・関西府県連合共進会	7回
	⑬豊田一族 ⑭耕地整理	・水力発電	8回
	⑮東洋一 ⑯平和博	・国際都市	9回
現代	⑰戦災復興 ⑱デザイン博	・愛知用水	10回
	⑲交通システム ⑳国際空港	・万国博	11回

図1 本連載で遺産の候補として考えた項目

そこで今回は、本連載の締めくくりとして、それらを整理しつつ、私が考える「名古屋の都市遺産」をまとめてみたいと思います。

2 名古屋の都市遺産

(1)項目の選定

これまで出した20項目の中で、専門的で、一般の人に話すには少し難しいかなと思われる事項には、例えば次のようなものがあります。

- ③萱津東宿：中世都市の萌芽
- ⑪上絵付産業：焼物産業の隆盛・輸出
- ⑭耕地整理：市街地形成の技術
- ⑲交通システム：新しいシステムの実現

また、地域的な、ローカルな話題かなと考えられる事項には次のようなものがあります。

- ②東山古窯群：瀬戸焼、常滑焼のルーツ

- ⑮東洋一：東山公園と中川運河の完成
- ⑯デザイン博：工業都市の変身
- ⑳国際空港：地域プロジェクトの実現

そのほか、⑨の名古屋駅と⑩の名古屋港については、同じような切り口のため統合することができそうです。

こうしたうえで、残った11項目（イレブン）の表現を整理しました(図2)。

	当初の20項目	選択・修正	選択した11項目
①	熱田の宮	→	熱田の宝剣
②	東山古窯群	地域的	
③	董津東宿	専門的	
④	織田信長	→	信長の青春
⑤	名古屋城	→	近世名古屋城
⑥	基盤割の街	→	基盤割の街
⑦	蕉風発祥地	→	蕉風の発祥
⑧	宗春の治世	→	宗春の政策
⑨	名古屋駅	→	駅と港の配置
⑩	名古屋港	⑨と合併	
⑪	上絵付産業	専門的	
⑫	覚王殿誘致	→	釈迦真骨の誘致
⑬	豊田一族	→	豊田の自動車
⑭	耕地整理	専門的	
⑮	東洋一	地域的	
⑯	平和博	→	平和博の開催
⑰	戦災復興	→	都心の大改造
⑱	デザイン博	地域的	
⑲	交通システム	専門的	
⑳	国際空港	地域的	

図2 20項目からの選択と変更

(2)都市遺産の表現

都市遺産選定の目的は、大きくいって二つの面から見ることができました(連載第一回)。一つは、子々孫々に伝えていくべき都市の財産を明確にすることです。これが将来の保存の道につながります。いわば、「世界遺産」的な考え方になるといえるでしょう。

いま一つは、地域として誇ることでできる都市の財産を明確にすることです。これが地域のポテンシャルを高めることになります。

いわば、「日本遺産」の考え方に近いといえるかもしれません。

そう考えると、同じ財産でも、その表現方法が異なってきます。たとえば後世に伝えていくための表現は、「モノ」になるはずですが。一方、誇ることでできることの表現は、「コト」になるのではないのでしょうか。そう考えると、都市遺産を表現するには、モノとコトという二つの面からの表現を考えておく必要があります。

そこで、コトを表わす「物語(視点と物語)」と、モノを表わす「事物(中心と関連)」を以下のように表現することにしました。

項目：遺産そのものを代表して、短く表す言葉です。

例：「熱田の宝剣」

<コト>

視点：どのような面から遺産とみるかという見方の問題です。

例：神器の存在する理由

物語：上記の視点に対する答えを、400字程度の文章で表わします。

例：三つの例を、3章で示します。

<モノ>

中心：遺産のイメージの中心になる事物を示すことにします。なお、実在か否かを問いません。

例：「草薙剣」

関連：上記の「中心」に関係する史跡、史料等。遺産に関連する事項で、ハードからソフトまでを含めて考えます。

例：熱田神宮(史跡、宝物、文献、環境)、外部の摂社、付近の史跡等

こうして先に選んだ11項目を表現してみました(図3)。

	項目	視点	物語(ポイント)	中心	関連(例)
1	熱田の宝剣	神器の存在理由	大和朝廷の 東国制覇の拠点	草薙の剣	熱田神宮 水上姉子神社
2	信長の青春	名古屋での居住歴	信長は21歳まで 那古野城在住	那古野城址	万松寺 桶狭間古戦場
3	近世名古屋城	城郭史上の意味	一国一城令直前の 大型築城	名古屋城	城郭 那古野城跡
4	碁盤割の街	碁盤割の意味	中国古代「周」以来の 王都の町割	都心の碁盤割	札ノ辻 本町通
5	蕉風の発祥	俳句芸術の始まり	芭蕉と名古屋5人の 俳諧集「冬の日」	俳諧集 「冬の日」	蕉風発祥地 鳴海千鳥塚
6	宗春の政策	吉宗との政策論争	大きな政府論と 小さな政府論の対立	「温知政要」	遊郭跡 芝居小屋跡
7	駅と港の配置	駅や港の位置論	明治初に 大都市像があった	旧名古屋駅 と保田沖	広小路通 中央ふ頭
8	釈迦真骨の誘致	唯一の真骨の存在	宗・官・財の団結による 誘致活動	日泰寺の 奉安塔	日泰寺 四観音道
9	豊田の自動車	自動車の創業資金	事業承継のための大義・ 「豊田綱領」	「豊田綱領」	産業技術記念館 豊田佐助邸
10	平和博の開催	戦時に平和博覧会	世界平和のための 貿易・交流の促進	平和橋	会場跡地 博覧会記念誌
11	都心の大改造	名古屋都心の改造	50年先を展望した 区画整理	久屋大通	金山副都心 平和公園

図3 私の考える名古屋都市遺産イレブンの表現

(3)大切な「視点」

以上のような都市遺産の検討から気がつくことは、「視点」の重要性です。疑問形にした方がわかりやすいかもしれませんが(図4)。この問いによって、その背後にある名古屋の価値が示されることとなります。そして、その答を「物語」で説明することになるのです。

これらの問いの中には、普通の人には内容がわからないことがあります。例えば、「名古屋が俳句芸術発祥の地」といっても、おそらく多くの方がわからないでしょう。俳句はよく知っていても、その俳句という芸術の発祥のきっかけが名

古屋にあって、しかも名古屋人がそれを担っていたということはあまり広く知られていないのです(連載第5回参照)。「信長が名古屋人」といっても、「戦時に平和博」といっても、そのこと自体、あまり知られていないのでは

「名古屋の都市遺産を考える11」の疑問	
1	なぜ名古屋に、三種の神器の一つがあるのか
2	なぜ信長は、名古屋で育ったといえるのか
3	なぜ名古屋城は、日本を代表する城といえるのか
4	なぜ家康は、名古屋城下を碁盤割にしたのか
5	なぜ名古屋は、俳句芸術発祥の地になったのか
6	なぜ尾張宗春は、将軍吉宗に対抗したのか
7	なぜ明治の名古屋は、駅や港の位置に拘ったのか
8	なぜ名古屋に、「釈迦の真骨」があるのか
9	なぜ豊田は、自動車事業を起こせたのか
10	なぜ名古屋は、戦時に「平和博」を開催したのか
11	なぜ戦後の名古屋は、都心の大改造ができたのか

図4 「視点」を分かりやすくすると…

ないでしょうか。

このように、ここに示した11の項目は、これまであまり知られてない視点が多くなりました。

しかし、意外だからこそ、話せば相手は疑問を持ち、そこで、語りたい物語を始めるきっかけができるのです。

今回、名古屋の都市遺産を考えることによって、このようないくつもの意外な視点が見つかったことは、幸せでした。名古屋にはまだ語られることの少ない魅力がたくさんあるのです。ぜひ、名古屋の都市遺産を幅広く議論し、さらに充実したものにしてゆきたいと強く思った次第です。

3 紀行 三つの物語

… 私の名古屋・都市遺産 …

それでは、今回は紀行に変えて、私が選んだ都市遺産から、いくつかの物語をみてみたいと思います。

古代、近世、近代から三つを選びます。

- ① 熱田の宝剣
- ④ 碁盤割の街
- ⑨ 豊田の自動車

いずれも名古屋の人が良く知っているテーマですが、新しい視点によって、中身が少し違ったものになりました。

(1)なぜ名古屋に、三種の神器の一つがあるのか？

- 草薙剣は、日本武尊が東征の帰りに名古屋に寄り、宮簀姫に渡したあと没したために、尾張に残ったと伝わります。しかし多分に神話的で、これを信じる人は少ないでしょう。何か裏がありそうです。



種々な剣が収められている八剣宮



明治以前に「草薙剣」が祀られていたという土用殿(現存)

- 探すと、日本書紀の中に、4世紀末から5世紀の初め、尾張氏の一族が天皇の重要な使者になったという記事があるのです(文献①)。見方を変えれば尾張氏は、大和朝廷の成立後程なく、その重要な役割を担う身分だったと考えられるのです。
- 大和朝廷の東国制覇には、日本武尊の話ならずとも、東海道と東山道を集約する名古屋(熱田)は、地理的に重要な拠点だったはずですが、このため尾張氏は朝廷の東国制覇に重要な役割を果たし、大王に近い立場にあったと考えることができるのではないのでしょうか。そしてそれだからこそ、日本武尊の神話がつくられたと。
- そのため、皇位継承のしるしを定める時に、その一つに「尾張氏の宝剣が選ばれた」とよ



碁盤割城下の中心軸、本町通



本町通と伝馬町通の交差する札ノ辻と説明版

めないでしょうか。

(補)なお尾張氏は、その後の①26代継体天皇の頃、②40代天武天皇の頃、という天皇制の節目の時に、皇位継承に重要な役割を果たしたと考えられているのです。

(2)なぜ家康は、名古屋城下を碁盤割の街にしたのか？

- 名古屋城は近世の初め、豊臣方との戦さに備えて新たに築城されました。一般には城郭の方が有名ですが、城下にもそれ以上に大切なことが隠されているのです。
- 名古屋城の城下の中心部は、「碁盤割」と呼ばれる一辺が60間程の正方形の町割りになっています。長方形の街区はよくありますが、正方形街区は宅地割が難しいため、あまり例のない町割りなのです。
- しかし徳川家康が自らつくった城下である、江戸、駿府、そして名古屋と、この正方形街区にこだわっています(文献②)。ところが、江戸は城下の正面が狭くて帯状になってし

まい、駿府は街が小さくて十分にできませんでした。そして名古屋になって、初めて本格的な正方形街区の町づくりが可能になりました。

- 家康が、なぜ正方形にこだわったのかは分かりません。しかし正方形街区は古代の都、奈良・京都の町割であるのはもちろん、その淵源を訪ねると中国の洛陽、さらには紀元前の「周礼」で示された王都がモデルだったのです。家康は、その学識によって、名古屋にも「王都」の街をつくりたかったのではないのでしょうか。

(3)なぜ豊田は、自動車事業を起せたのか？

- 今日のトヨタ自動車のルーツは、豊田佐吉の自動織機の発明にあるとされています。しかし、自動織機と自動車はどこでつながるのでしょうか。カギは事業の承継にありました。
- 明治末、佐吉は誘われて織機製造の会社設立に加わりました。ところが発明の資金を経営上の理由でおさえられてしまい、佐吉



豊田佐吉と豊田綱領(豊田自動織機KK HP)



トヨタ自動車の設立総会の開かれた
豊田紡織旧本社(産業技術記念館内)

はその会社を飛び出しています。その後、自らの近親者で紡織事業を興し、その成功で織機の発明資金をつくって、自動織機を完成させました。

- 昭和の初め、佐吉が亡くなって、自動車開発が本格化した時、その膨大な資金に織機事業等の利益を回す必要がありました。しかし、自動車事業の可能性が疑問視されている時に、成功している事業の利益をつぎ込むには、何か大義が必要でした(文献③)。
 - そのときつくられたのが「豊田綱領」です。そしてその前段に、大きく、「豊田佐吉翁の遺志を體し」と記しました。織機事業と自動車事業は一体であり、自動車事業も佐吉の遺志であることを強調したのです。
- (補)なお、この綱領は、今日でも、トヨタグループ

全体の行動指針になっているものです。

4 新しい名古屋の魅力

名古屋は魅力のない街だと言われることがあります。産業や経済が活発なだけに、外の人に語ることが少ないということでしょうか。それは例えば、名古屋人の誇りとされる熱田神宮や名古屋城にしても、その誇りとなることが広く知られていないからだと思います。

名古屋市は、「語りたくなる街・名古屋」を歴史街づくりの目標に掲げました。しかし、その語るべきこと、誇るべき物語は、具体的に示されていないのではないのでしょうか。それでは市民は語れません。

この連載では、20個の名古屋が誇るこのできる物語を考えました。そして今回、11個の、一般的で全国にも通用する項目を選びました。これを一つのたたき台にして、名古屋の都市遺産の議論が広まっていくことを期待したいと思います。

〈主な参考文献〉

- ①同編集委員会『新修名古屋市史①』
(1997、名古屋市)
- ②鈴木理生『江戸はこうして造られた』
(2000、ちくま学芸文庫)
- ③和田・由井『豊田喜一郎伝』
(2002、名古屋大学出版会)

— 連載を終えて —

まず、今回12回目が大変遅くなったことをお詫びします。実は昨年11月、私は心臓の手術をして、連載が途切れました。しかしいったん途切れると緊張感が消えてしまい、ついつい今日まで延び延びになってしまいました。

しかし、この連載を通して、私は名古屋の歴史を改めて学びなおすことになりました。それは、大げさな言葉でいえば、新しい名古屋像の発見だったといえるかもしれません。

この連載を読んでいただいて、より多くの方が、名古屋を再び見つめ直し、新しい魅力が発掘されていくことを望み、筆を置きます。

池田 誠一